

楽劇（オペラ）《白峯》第三幕から

## 崇徳天皇と西行

台本・音楽 丹波 明

日時：平成26年9月21日（日）11：30～

場所：京都 白峯神宮

白峯神宮の崇徳天皇850年祭に、丹波明 楽劇《白峯》を奉納していただくことになりました。

楽劇《白峯》は上田秋成の『雨月物語』に題材をとり、西洋音楽と能楽を融合させた全く新しい日本語の現代オペラです。第三幕はこのオペラのクライマックスです。

華やかな平安貴族社会の裏で渦巻く虚栄、陰謀のなかで育ち、怨み、憎しみ、孤独のうちに配流の地・讃岐白峰で亡くなった崇徳天皇と仏教に深く帰依する西行法師の生き方をめぐる激しい対決の場面です。

丹波 明プロフィール

作曲家・音楽博士。1932年横浜生まれ。60年フランス政府給費留学生として国立高等音楽院に入学、オリヴィエ・メシアンに師事。68年フランス国立科学研究センター入り、98年主任研究員に就任。著書には『能音楽の構造』『「序破急」という美学』等。

崇徳天皇 大野徹也

西行法師 大塚博章

指揮 矢崎彦太郎

オンド・マルトノ 原田節

電気ギター 田茂井晋裕

電気ピアノ 岩田真依

打楽器 白川和彦 佐久間真理

白峯合唱団

音響 佐々木淳 田中大貴

舞台 田岡裕基

演出 青木ビビアン

